

児童も先生も学び続け、変わっていく学校づくりを進めます。

あい **愛** 心豊かで
がく **学** よく考え
けん **健** 自主性と実践力に富んだ子ども

北八下小学校 校報

令和8年2月27日発行

3月号

心をひとつに — 成長の足あとが輝いた日々

【授業参観】 緊張の先にあった、誇らしい姿

先日の授業参観では、どの学年も準備の段階から真剣に取り組み、本番を迎えました。

教室では、多くの保護者に見守られながら、緊張した面持ちで発表する子どもたちの姿がありました。

その表情からは、「伝えたい」「やりきりたい」という思いが感じられました。

体育館では、合奏や合唱、そして「将来の夢」や「今の想い」を大きな声で語る姿が印象的でした。言葉に込められた一つ一つの思いは、確かに保護者の方々の心に届いていたのではないのでしょうか。

子どもたちも大人も、緊張の中での行動こそ大きく成長します。あの日の経験は、間違いなく次への自信につながります。

【大縄跳び記録会】 ~仲間とつないだ、挑戦~

今年の大縄跳び記録会は、どの学年も練習の成果が存分に発揮された、まさに“超ハイレベル”な記録会となりました。特に、

6年2組 229回 — 北八下最高回数級の快挙。来年度からの目標回数になります。

5年3組 217回 — 5年生での歴代に残る記録。

4年2組 184回 — 上級生に迫る堂々たる記録。

回数だけではありません。失敗しても励まし合い、声を掛け合う姿に、心があたたかくなりました。

また、3年生はどのクラスもレベルが高く、来年以降の飛躍が今から楽しみです。1・2年生は、楽しく跳んでいました。そして、上級生の挑戦を応援しながらマナーよく見ている姿が立派でした。この「見る姿勢」こそが何より大切なのです。先輩たちの姿を追いながら、きっと大きく伸びていくことでしょう。

かけ声、跳ぶ音、そして応援の声。集中と挑戦する心がしっかりと出ていた記録会でした。

【6年生おわかれ集会】 受け継がれる思い

おわかれ集会では、1年生から5年生までの在校生が、6年生への感謝の気持ちを込めてメッセージと歌声を届けました。学年ごとにカラーがあり、かわいらしさ、力強さ、真剣さ——それぞれの思いが6年生にしっかりと届いていました。

在校生のよびかけや合唱から6年生の笑顔の中にこぼれる涙。その光景は、この一年間の積み重ねがいかに温かいものであったかを物語っていました。

6年生は、昨年の5年生の頃と比べて大きく成長しました。

仲間を支え、下級生を導き、学校を引っ張る「頼れる最高学年」となりました。

その背中には、確実に次の学年へと受け継がれていきます。

【まとめに】

子どもたちは、行事の一つ一つを通して、目に見える以上に成長しています。

これからも北八下小学校の子どもたちは、「努力する姿、仲間を思う心、挑戦する勇気」を大切に前へ進んでいってほしいと願っています。

保護者の皆様のご支援と励ましに、心より感謝申し上げます。

これからも子どもたちの成長を、ともに見守っていただければ幸いです。



最終下校時刻設定の見直しについて

本校の最終下校時刻につきましては、これまでの運用状況を丁寧に振り返りながら検討を重ねてまいりました。現在の時刻は他校と比べてもやや遅い時間帯となっており、よりよい教育活動を継続していくためには、教職員が授業準備や子ども理解に十分向き合える時間を少しでも確保することも重要であると考えております。こうした観点から、来年度より現行から10分程度早める方向で調整を進めております。正式に決まり次第、ホームページ等でお知らせいたします。